

一般社団法人 日本応用地質学会
令和7年度 第2回 応用地質学教育普及委員会 議事録(案)

◆ 開催状況

日時：2025(令和7)年6月24日(火) 15:00～17:00

場所：学会事務局 & オンラインハイブリッド会議

出席：太田岳洋委員長(Z)、大谷晃副委員長、金山健太郎・法橋亮幹事、大葉勝裕(Z)・小俣雅志(Z)・佐々木和彦・清水公二(Z)・諏訪喬祐(Z)・武田和久・戸邊勇人(Z)・原勝宏(Z)・東田優記(Z)・味野晴佳(Z) 各委員 14名

委任状：3名 情野隆・西柳良平・竹内真司 17/17=成立 (>過半数)

◆ 配布資料

1. 令和7年度 第1回 (2025.4.14) 委員会 議事録(案) 金山
2. 第11回入門講座 ―小山ダム開催報告 各担当委員
(現地研修報告、決算・収支報告、学会誌報告)
3. 合同資源見学会 (2025.8.29) の準備状況 法橋
(申し込み状況、入金依頼、学会準備テキスト)
4. 第12回入門講座 ―いすみ地点準備状況 佐々木・法橋
(計画案、スケジュール案、収支案、初期投資資料)
5. 第3回技術者倫理講習会の計画 佐々木
6. 委員会の2025年度年間収支案、これまでの委員会企画開催状況 佐々木

◆ 議事次第

1. 前回議事録の確認(報告・承認) 資料-1
2. 第11回入門講座 ―小山ダム開催報告(報告・承認) 資料-2
3. 合同資源見学会(報告・協議) 資料-3
4. 第12回入門講座 ―いすみ地点準備状況(協議) 資料-4
5. 第3回技術者倫理講習会の計画 (報告) 資料-5
6. 委員会の2025年度年間収支案 これまでの委員会企画開催状況(報告) 資料-6
7. 報告 次回委員会の設定

☐ 令和7年度第3回委員会 2025(令和7)年●月 日() ハイブリッド型式

◆ 議事内容

1. 前回議事録の確認【承認事項】 資料-1

- ・ 資料-1を基に、前回委員会の議事録案について説明がなされ、最終案とすることで承認された。

2. 入門講座 小山ダム開催報告(報告・承認) 【協議事項】 資料-2

- ・ 資料-2を基に、金山委員より資料の説明が行われた。
- ・ 申し込みは29名であったが当日体調不良が出たため参加者は28名となった。
- ・ 参加者のアンケートの結果、講座は好評であり、特にオンデマンド教材で新しく導入した山本先生・金丸先生に作成いただいた「磁北・真北について」と「縮尺について」、「等高線について」という分野の評価が高かった。
- ・ 新規入会者が例年より少なく2名であった。例年では会員と非会員との金額差から入会されるケースが見受けられたが、今回は賛助会員特典(会員価格で参加)を利用した方が多かったことが入会に繋がらなかったことが原因とされた。

- ・ 課題の収入減について、賛助会員が会員と同じ金額で設定されていることが収入減の原因となった。次年度賛助会員の参加費は、会員と非会員の間の金額とすることとなった。
- ・ 周知方法の改善として、開催案内の前倒しとしてはと意見が出たが、現在 5 月開催 4 月参加申し込み 2 月会告としており早めの周知となっている。他学会などに周知することになった。
- ・ 実習ニーズについては過去アンケートの分析を行い、現況で対応できているのか、改善点が何かを整理することとなった。味野委員が対応する。
- ・ 準備態勢の若返りと委員会体制の強化および持続的な運営に向けての課題がある。委員の負担も多いことも課題である。支部や支部以外の機関（特にフィールドの達人）も含めて講師教育や協力体制を構築するとして講師を広く募集する方針となった。他学会との共催とした場合の例としてフィールドの達人の実践講座には応用地質学会から講師派遣をしており、収入は応用地質学会に支払われないが講師派遣として交通費などは支払われている。支部への依頼文は太田委員長より送付することとなった。
- ・ 技術者マッピングは締切期限（6 月 23 日）までに 16 名から回答を得ている。期限延長を申し出た者（2 名）を含め 18 名の結果が集まる予定である。結果は次回の報告とする。
- ・ 入門講座 小山ダム開催報告については、学会誌〇号に投稿予定であり、現地研修時の写真を追加したうえで委員会内で査読を行う予定である。

3. 入門講座 ―合同資源見学会（報告・協議）【報告・協議事項】 資料-3

- ・ **資料-3** を基に、法橋幹事より関係各所との調整および準備状況について報告された。
- ・ 参加枠が 5 名ほど残っている。引き続き募集を行う。
- ・ 南関東ガス田の地質的背景について資料の追加が望ましい。担当の委員で対応する。

4. 第 12 回入門講座 ―いすみ地点準備状況 佐々木・法橋 資料-4

- ・ 佐々木委員と法橋委員より **資料-4** を基に準備状況について報告された。
- ・ 研修日程は 11 月 19～21 日に決定した。初めての地点となるため担当講師の目合わせ(4 名程度)も含めて事前視察を行う。時期は 9 月下旬～11 月上旬ごろを予定している。
- ・ 会告は 8 月号に行うため 7/29 までに事務局に提出する。
- ・ 講師は佐々木、金山、原、法橋、味野が決定した。佐々木委員より講師の打診を個別に行う。

5. 第 3 回技術者倫理講習会の計画 資料—5

- ・ **資料-5** を基に、佐々木委員より資料の説明が行われた。
- ・ 太田委員長、小俣委員に加え、清水委員で対応する。
- ・ 会員、山口大学理学部地球圏システム科学科支援企業社員は 2,000 円、賛助会員企業所属社員は 3,000 円、非会員は 5,000 円で開催が決定した。

6. 委員会の 2025 年度年間収支案、これまでの委員会企画開催状況【報告事項】 資料—6

- ・ **資料-6** を基に、佐々木委員より資料の説明が行われた。

7. 次回委員会の予定について

- ・ 次回委員会の日程は下記のとおりとする．なお，配布資料の収集や議事次第作成は幹事が担当し，議事録作成はグループ2（東田，大場，諏訪，法橋委員のうちのいずれか）が担当する．

◆ 令和7年度第3回委員会 2025(令和7)年9月1日(月) 15:00～学会会議室& Web

以上（作成:味野）

【参考】

議事録作成担当 （ ）内は担当した年度・回

- ・ グループ1=情野(R5 第5回)・大谷・佐々木(R6 第3回)・味野(R7 第2回)
- ・ グループ2=東田・大葉(R6 第4回)・諏訪(R6 第1回)・法橋← 次回(R7 第3回)担当
- ・ グループ3=武田(R6 第2回)・金山(R7 第1回)・戸邊・西柳